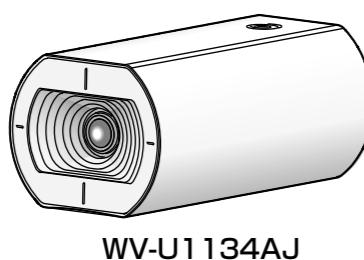


取扱説明書 設置編

工事説明付き 保証書別添付

ネットワークカメラ 業務用

- 品番 WV-U1134AJ 屋内監視用
WV-U1114AJ 屋内監視用
WV-U1133AJ 屋内監視用
WV-U1113AJ 屋内監視用



WV-U1134AJ

取扱説明書について
本機の取扱説明書は以下の構成になっています。

- 取扱説明書 設置編（本書）：本機の安全上の注意、設置上のお願い、設置方法について記載しています。
- 取扱説明書 基本編（下記マニュアルウェブサイト内）：本機の使用上のお願い、詳細仕様について記載しています。
- 取扱説明書 操作・設定編（下記マニュアルウェブサイト内）：本機の操作や設定方法について記載しています。

https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_security_support_manual-dl取扱説明書に記載されている「**管理番号：Cxxxx**」は、以下の弊社サポートウェブサイト内で該当する情報を検索する際に使用する番号です。https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_security_support_technical-information

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「**安全上の注意**」を必ずお読みください。
- 保証書は「**お買い上げ日・販売店名**」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

パナソニックi-PRO
センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2021

avs0821-0
Printed in China

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	電話 () - お買い上げ日 年 月 日
------	-----------------------

修理を依頼されるときは

● 製品名	ネットワークカメラ
● 品番	WV-U1134AJ, WV-U1114AJ WV-U1133AJ, WV-U1113AJ
● 故障の状況	できるだけ具体的に

● 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

● 保証期間終了後は、診断して修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

[技術料] 診断・修理・調整・点検などの費用

[部品代] 部品および補助材料代

[出張料] 技術者を派遣する費用

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

※「日本エアリー」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合はいたしかねます。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリー 0120-878-410
受付：9時～17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「**故障かな？**」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときにためには発信番号を通知いただいてあります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

注意：

- 外部施設からの屋外引き込みケーブルが直接接続されているネットワークに、本機を接続しないでください。
- 本機は電源スイッチはありません。この製品に電力を供給する機器の主電源を遮断できるように、ブレーカーなどの遮断デバイスを必ず設置してください。
- 本機は業務用機器です。
- 設置に必要なねじやそのほかの部材などの情報については本書の該当部分を参照してください。

■ 直流電源記号

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を区分して、説明しています。



■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）



! 警告

 禁止	■ 異物を入れない (金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。 ⇒直ちに電源を切り、販売店に連絡してください)
 分解禁止	■ 可燃性ガスの霧囲気中で使用しない (可燃性ガスによる火災の原因となります)
 接触禁止	■ 塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない (取付け部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります)
 分解禁止	■ 落とさない、強い衝撃を与えない (けがや火災の原因となります)
 接触禁止	■ ぶら下がらない、足場代わりにしない (けがや事故の原因となります)
 分解禁止	■ 分解しない、改造しない (火災や感電の原因となります。 ⇒修理や点検は、販売店に依頼してください)
 接触禁止	■ 雷が鳴りだしたら、本機や電源ケーブル、接続したケーブルに触れない (感電の原因となります)

 禁止	■ 工事は販売店に依頼する (工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります) ⇒必ず販売店に依頼してください。
 分解禁止	■ 異常があるときは、すぐ使用をやめる (煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落によるけが、器物損壊の原因となります)
 接触禁止	■ 雷が鳴りだしたら、本機や電源ケーブル、接続したケーブルに触れない (感電の原因となります)
 禁止	■ 置く (放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください)
 分解禁止	■ 総質量に耐える場所に取り付ける (落とや転倒によるけがや事故の原因となります) ⇒十分な強度に補強してから取り付けてください。
 定期的に点検する	■ 定期的に点検する (工具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります)
 専用の取付金具を使用する	■ 専用の取付金具を使用する (落下によるけがや事故の原因となります) ⇒設置の際は、専用取付金具を使用してください。
 記線は電源を切ってから行う	■ 記線は電源を切ってから行う (感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因となります)
 人がぶつからない高さに取り付ける	■ 人がぶつからない高さに取り付ける (けがの原因となります)
 落下防止対策を施す	■ 落下によるけがの原因となります ⇒落下防止ワイヤーを必ず取り付けてください。
 振動のないところに設置する	■ 振動のないところに設置する (取付けねじやボルトがゆるみ、落下などでけがや事故の原因となります)
 記線は正しく行う	■ 記線は正しく行う (ショートや誤配線により、火災や感電の原因となります)
 設置の説明にしたがって壁または、天井にしっかりと取り付ける	■ 設置の説明にしたがって壁または、天井にしっかりと取り付ける (けがや事故の原因となります)

 禁止	■ 金属のエッジで手をこすらない (強くこするとけがの原因となります)
 禁止	■ お手入れのときは電源を切る (けがの原因となります)

記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。

- U1134 : WV-U1134AJ (フルHDモデル) で使用可能な機能
- U114 : WV-U1114AJ (HDモデル) で使用可能な機能
- U113 : WV-U1133AJ (フルHD 固定焦点モデル) で使用可能な機能
- U113 : WV-U1113AJ (HD 固定焦点モデル) で使用可能な機能

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品にはGNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアが含まれています。
- お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変できます。
- オープンソースソフトウェアのライセンスやソースコードに関する詳細は、本機の設定メニューの「サポート」ページの「本製品で使用している OSS」については、こちらを参照ください。をクリックして、表示される内容をお読みください。
- なお、ソースコードの内容などについての質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

著作権について

GPL/LGPLその他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本製品に含まれるソフトウェアの廉価、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media、Internet Explorer、Microsoft EdgeおよびActiveXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Intel Coreは、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporationまたはその子会社の商標です。
- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe ReaderはAdobeの商標です。
- iPad、iPhoneは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- AndroidおよびGoogle Chromeは Google LLC の商標です。
- Firefoxは、米国およびその他の国における Mozilla Foundation の商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウエーブの登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

設置上のお願い

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときは、弊社では責任を負いません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

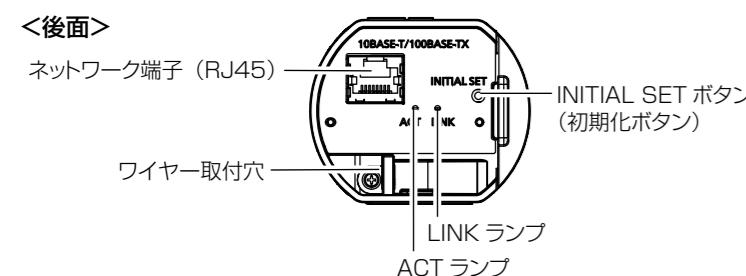
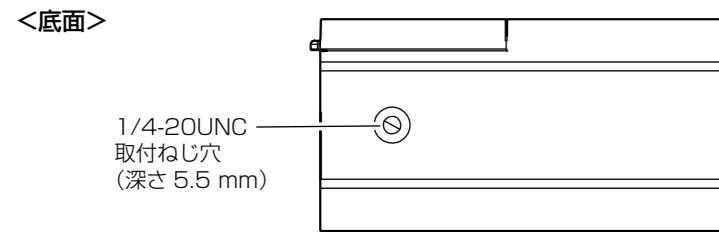
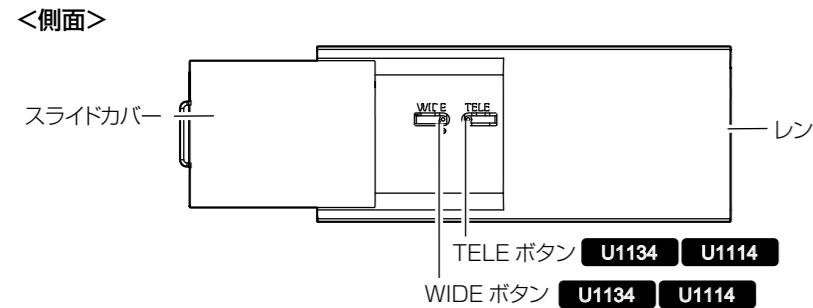
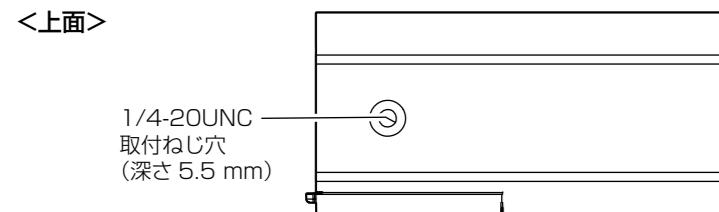
本機の設置・接続を始める前に必要な周辺機器やケーブルを確認し、準備してください。接続する前に、本機、PCなど接続する機器の電源を切ってください。

■ 傷害防止のため、この機器は、設置の説明に従って天井または壁面にしっかりと取り付ける必要があります。

■ 本機の取付場所について

設置場所はお買い上げの販売店とよくご相談のうえ、丈夫な壁面や天井面などをよく選んで設置してください。

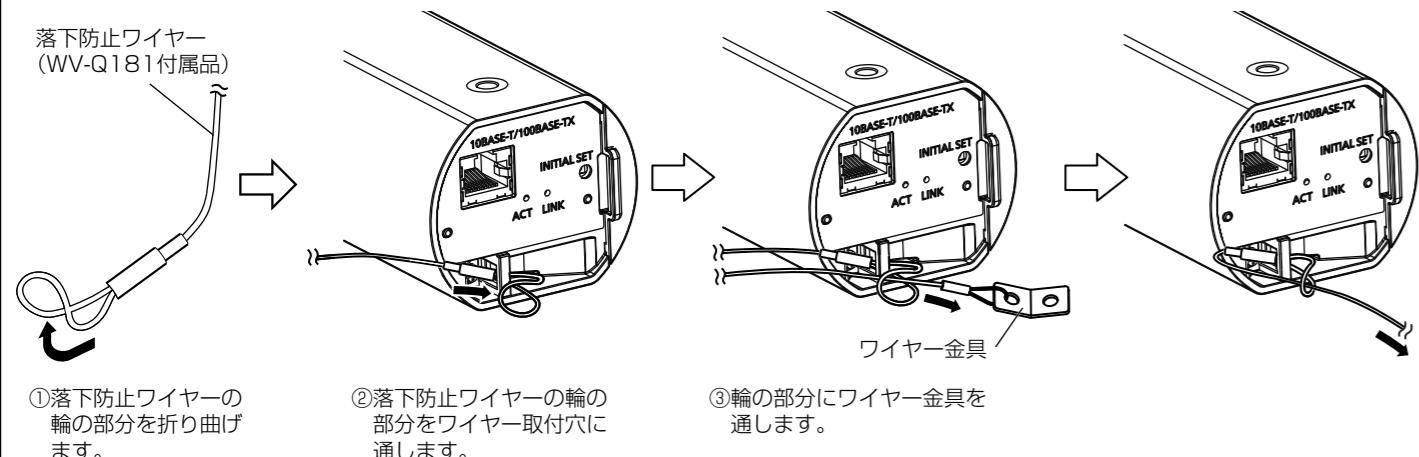
各部の名前



Step1 準備をする

落下防止ワイヤーを取り付ける。

以下はカメラ取付台(壁面用) WV-Q181を使用する場合の落下防止ワイヤーの取り付け手順です。
カメラ取付台(天井用) WV-Q180の場合も手順は同じです。

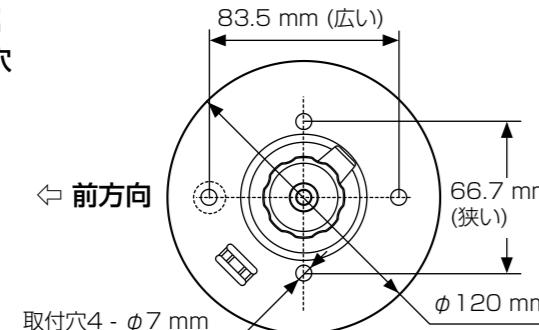


Step2 設置面を加工する(取付方法に合わせて加工する)

共通 ● カメラとカメラ取付台の一番低い部分が取り付け後に 2m 80 cm 以上になるよう
に取り付ける高さを決めてください。

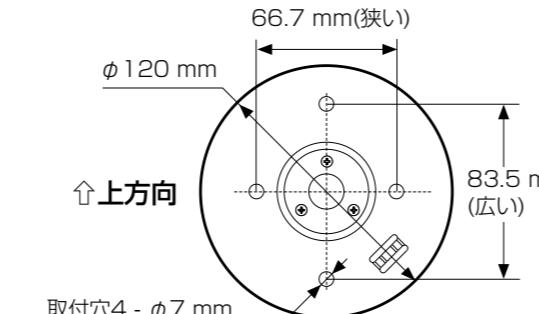
Q180

[1] カメラ取付台(WV-Q180) 付属の設置用型紙を使って設置面に穴を開ける。(ねじ穴 4か所)



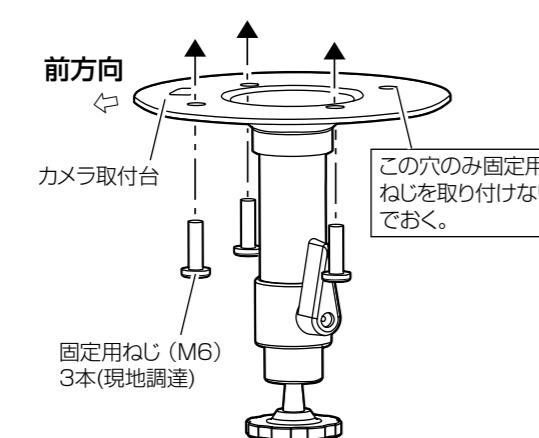
Q181

[1] カメラ取付台(WV-Q181) 付属の設置用型紙を使って設置面に穴を開ける。(ねじ穴 4か所)



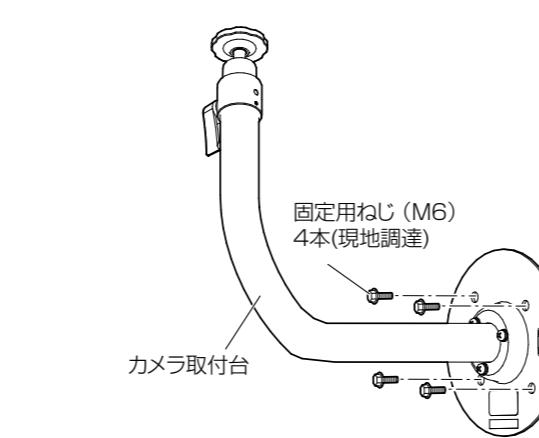
[2] カメラ取付台(WV-Q180) を設置面に取り付ける。

(最低引抜強度: 562 N | 57 kgf|以上)



[2] カメラ取付台(WV-Q181) を設置面に取り付ける。

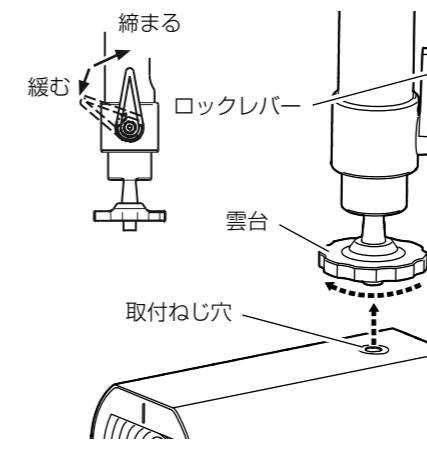
(最低引抜強度: 724 N | 74 kgf|以上)



Step3 固定する(取付方法に合わせて固定する)

Q180

[1] ロックレバーを緩めて雲台を解除する。



[2] カメラの取付ねじ穴にねじ山を合わせ、雲台を矢印の方向に回してカメラ本体を取り付け固定する。

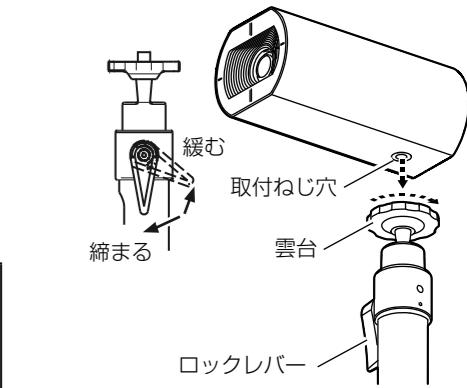
重要

● 必ず雲台を回して固定してください。カメラ本体を回すと雲台に大きな負担がかかり、破損するおそれがあります。

[3] ロックレバーを締めて雲台を固定する。

Q181

[1] ロックレバーを緩めて雲台を解除する。



[2] カメラの取付ねじ穴にねじ山を合わせ、雲台を矢印の方向に回してカメラ本体を取り付け固定する。

重要

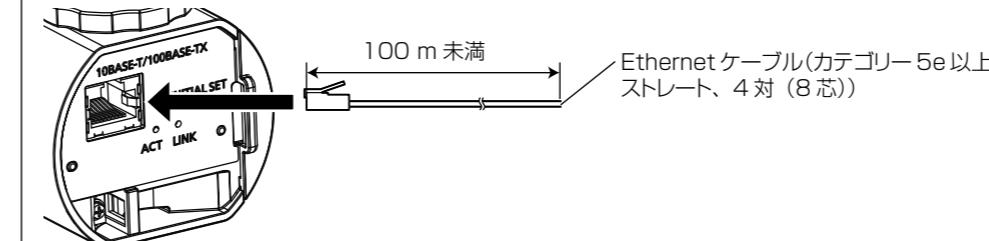
● 必ず雲台を回して固定してください。カメラ本体を回すと雲台に大きな負担がかかり、破損するおそれがあります。

[3] ロックレバーを締めて雲台を固定する。

Step4 ケーブルを接続する

重要

● 本機に電力を供給できるデバイスは、PoEハブまたはPoE給電装置です。
● ケーブルを接続する前にシステムの電源を切断しておいてください。



Step5 調整する

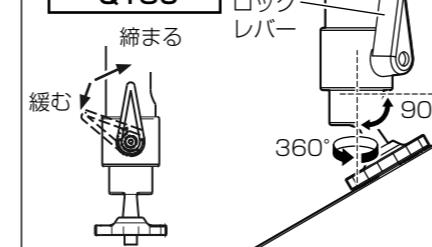
[1] カメラの電源を入れる。

[2] サポートウェブサイト <管理番号: CO123> にある説明に従って、IP簡単設定ソフトウェアをダウンロードして起動し、ネットワークに接続する。

[3] カメラの向きを調整する。

① カメラ取付台のロックレバーを緩めます。
② ネットワーク上のPC画面を見ながら、向きを調整します。
③ 向きを調整したあと、しっかりとロックレバーを締め直します。

Q180



Q181



重要

● カメラの向きの調整は、必ずロックレバーを緩めてから行ってください。ロックレバーを締めたまま調整を行うとカメラ取付台に無理な負荷がかかり、破損の原因になります。

U1134 U1114

[4] カメラのズーム倍率を調整する。

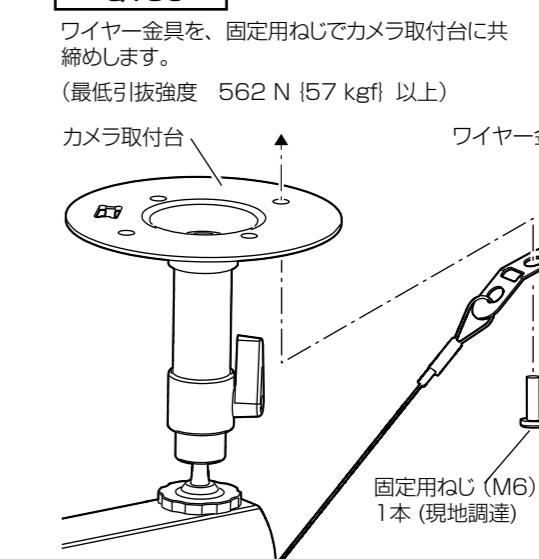


メモ

- TELEボタン、WIDEボタンを離してから約3秒後、自動でオートフォーカスが実行されます。
- 解像度を640×360より上に設定している場合は、ズームの倍率によって画質が劣化することがあります。詳細はサポートウェブサイト<管理番号: CO124>を参照してください。

[5] 落下防止ワイヤーを設置面に固定する。

Q180



Q181

